

テーマ
**まちづくりのために
私たちにできること**

講演



長谷川幸介先生
(茨城大学生涯学習
教育センター准教授)

「市民が主役のまちづくり」

「要旨」今、個人の幸せの価値観が多様化する中、市が全ての個人の「幸せ商品」に対応することは難しくなっている。これを解決するには、市民が自ら「幸せ商品」を企画提案し、行政と一緒にそれを作り上げる「協働」が必要である。私たちが取り巻くすべてのものは、子や孫への預かりものと考え、いずれ、子や孫へ託す「幸せ商品」を今作り上げることに、力を使うべきである。

事例発表



佐久間淳氏
(逆西4区行政区長)

「逆西地区における自主防犯パトロール隊の活動」

「要旨」神立地区に程近い逆西地区の犯罪を軽減するため、平成十七年十月から、四区内の公募で集まった四十五人のボランティアにより活動を開始。活動は、区ごとに月四回程度(昼夜四回)、一回で八人程度がパトロールを行なっている。地域では、悪質業者の訪問も減ったとの声もあり成果をあげている。今後は、「独居老人見守り隊」としての活動も視野に入れ、パトロールを継続していきたい。

提言と回答

市民の皆さまからの意見・提言に、坪井市長が回答しました。(※内容は、一部省略し掲載しています。)

スポーツ活動などのボランティア活動に、市民の皆さんが積極的に参加してもらう施策は？
市民主体のスポーツクラブは、市民の健康づくり、青少年の健全育成、市民相互の交流機会の拡充など、生涯スポーツ社会の実現に向けて、果たす役割も大きい。総合型スポーツクラブが、軌道に乗るまで一定の支援をしていきたい。

都市計画上のまちづくりに建築士がボランティアで参加するなど、市民・行政とも費用のかからない、労力提供を主とした事業を行なっている？
専門的な知識を持った、有資格者の方々から、ご指導・ご助言をいただき、よりよいまちづくりにつながれば有意義なこと。公共建築物の再生・インフラ整備に関しても、専門的な立場からアドバイスをいただければ幸いなので、今後ともご協力をお願いしたい。

ドラゴンボートなど霞ヶ浦を活用したイベントの展開は？
地域づくり活動の促進あるいは、霞ヶ浦の観光PRのため、大きな期待をしているところ。今後、より充実した大会が開催できるよう、検討していきたい。帆引き船については、

かすみがうら市東西幹線道路の整備はいかに？
県道のバイパス化や、市の事業として計画しているJR常磐線をまたぐ「宍倉・下稻吉線(跨線橋)」など、いくつかの事業を組み合わせてから、国・県・隣接市・関係住民の皆さまの協力を得て、整備促進を図りたい。

土浦市をはじめとする旧新治郡合併推進委員会を、住民を含めて立ち上げては？
中長期的な視野のもと、合併に向けた更なる議論や気運の高まりがみられれば、市民の皆さまのご意見をよく伺ったうえで、推進していく。

地域公聴会を市内で最低十ブロック程度開催しては？また、市の「未来委員会」を市長直轄にて立ち上げては？
公聴会は、市民協働のまちづくりのひとつの方法として、今後十分に検討する。

また、行政主導を改め、住民と一体となった行政運営が必要であり、組織化なども含め、検討している。



本年度の「あゆみまつり」から九艘での運行を始め好評を得ている。

スを利用した霞ヶ浦周辺遊休農地の活用や、市内飲食店とタイアップし一品料理の開発などをしてはどうか？
農業従事者の高齢化や、就労者の減少により遊休農地が増える中、適切な解消策を見出せていないのが現状。ハスの花畑などの景観を観光協会などの関係機関でPRに努めていきたい。

また、平成九年度から、茨城広域銘柄化推進協議会が主体となり、市内でも昨年度二店舗、今年度一店舗がレンコン料理を提供している。さ

らに、レンコン生産農家などの主婦の皆さんと、レンコン料理を研究し、農協などの直売所で販売できるように検討中である。

コミュニティバスの運行経路などの見直しをしては？
路線バスが廃止された地域も含めて、巡回しているが、交通不便地域を解消しているとはいえない。本年度末までを試行期間としているため、利用者などの意見を反映しながら、現在見直しを検討している。

行政サービス向上のため、統一近に建設しては？また、民間も参入した市役所内の無理・無駄排除を行なっては？
地形的な面を考慮した、現状の市民サービスを補償するという観点から、当面、千代田庁舎を活かし、なおかつ、霞ヶ浦地域の行政サービス拠点としての機能を確保する一定の施設整備は必要であり、老朽化の著しくもある霞ヶ浦庁舎の移転整備に向け、事務を進めている。

また、行政改革で「集中改革プラン」を策定し、行政改革推進本部から各担当部署へ、問題点や見直すべき点があれば、支持を出す体制をとっている。さらに、「一職場一目標

運動」を実施し、部署ごとに、独自に年度数値目標を掲げ、無理・無駄・むらの排除につながるよう努めている。集中改革プランは、外部委員である行政改革懇談会から、その進捗管理に提言をいただいている。

小学校校舎の耐震化改修などに予算を優先的に当ててはどうか？
昨年度に、小中学校の耐震優先度調査を実施しているが、耐震対策は費用負担が大きく、整備数も多いことから長期化するため、その財源確保が不可欠である。市民や議員の皆さまのご意見を拝聴しながら良い方策を検討したい。

悪臭についての具体的な対策は？
これまで、臭気の原因となる養鶏場への改善を強く要望してきた。会社側は、鶏糞を炭化したリ、新たな機械の導入を検討し設置することのこと。今後とも県・石岡市と連携し、改善・指導をしていくつもりである。

建設中のコミュニティセンターは必要なのか？
今日、少子化・高齢化・核家族化などの社会問題への対応が自治体にとって大きな課題となっている中、子育て支援センターや、健康づくり